

第1号議案

令和2年度事業報告及び収支決算報告について

令和2年度事業報告の概要について

大杉谷登山歩道では、4月17日に安全祈願祭を行いました。11月23日までの期間中に、915パーティ2369人の登山届の提出があり（前年比57%）、入山者数4738人（前年比75%）でした。

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い、外出自粛要請及び緊急事態宣言が発令されたため、シーズン開始前半の登山者数は激減しました。

解除後、登山者数は徐々に戻り始め、月によっては前年比を上回る月もありましたが、前年に比べ大幅に減少しました。

以下、登山センター業務について報告します。

事業内容

1. 自然保護及び美化清掃の啓発

昨年度に引き続き環境省の「令和2年度グリーンワーカー事業（吉野熊野国立公園大杉谷登山道清掃業務）」を活用し、登山歩道の環境整備に努めました。

今年度はグリーンワーカー事業として2回実施し、計4日間、延べ35人の活動となりました。堂倉避難小屋周辺ではまだ昔のゴミが多数放置されており、来年度以降も継続して清掃活動を行っていく予定です。

堂倉避難小屋の日常的な管理及び清掃については今シーズンも栗谷小屋管理人に協力していただき共同で行いました。

一般登山者に対しては SNS や登山センター主催のイベントを活用して自然保護及び美化清掃の啓発を行いました。登山センター主催のイベントではゴミ袋を配布し、美化清掃に協力していただくことで当事者意識が生まれ、啓発に繋がったと感じています。

2. 大杉谷登山歩道の維持管理

大杉谷登山歩道維持管理業務を三重県より受託し、日出ヶ岳登山口から第三発電所登山口までの歩道区間において、月 4 回以上のパトロールや登山歩道の軽微な補修、台風後の安全確認、倒木の処理、登山者の安全を確保するための看板や施設の損傷等の点検を行いました。

歩道の簡易な修繕については、関係者の皆様にご協力いただき実施した「大杉谷登山歩道関係者整備」や一般の参加者を募った「ボランティア整備プロジェクト（森林環境教育及び自然保護活動）」、通常のパトロールによって対応致しました。

また、環境省の直轄管理となる平等嶺吊橋と取付歩道 300m の維持管理は、環境省から業務を受託し、点検パトロールや登山歩道の軽微な補修、登山者への安全啓発を行いました。

今年度は NPO 法人大杉谷自然学校より大杉谷登山道の整備を受託し、桃の木山の家、栗谷小屋のスタッフと共同で登山道の整備を行いました。道迷いが多い箇所へのマーキング、吊り橋の床板の取り換え、倒木の処理など、例年以上に細かい箇所まで整備を実施することが出来ました。

3. 安全登山の啓発

第三発電所の登山口及び大台ヶ原駐車場において、登山計画書の提出および安全登山を呼び掛ける看板、チラシ等による啓発を積極的に行い、事故の防止に努めました。

毎月10回程度、大台警察署大杉谷駐在所と連携して大杉谷自然の家前にて啓発活動を行いました。また、エスパール交通の登山バス運行日は登山届を直接回収することで安全登山を呼びかけました。

日頃の啓発活動や、山岳遭難事故発生時の取り組みが評価され、令和2年12月15日に大台警察署長より感謝状を頂きました。

4. 大杉谷 PR 事業

登山センターホームページやSNSを有効に活用し大杉谷登山歩道の状況を登山者等に提供することで事故防止の啓発に努めました。

大台町観光協会などの町内事業所やテレビ番組、雑誌等のメディアを活用し、大杉谷のPR活動を行いました。

例年通り各地のイベントへの出展を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止になりました。

SNSの活用には、**facebook**、**instagram**をホームページと連動させるとともに、**Twitter**では毎日大杉谷の天気を発信するなどこまめな情報発信を行っています。

年々、関東地方や九州、東北地方などの遠方からの登山者が増えてきており、PRの効果を感じられます。今後はPRを行いつつ、受け入れ体制をしつ

かりと整えていく作業を行っていきます。

各種 SNS フォロワー数の推移

		フォロワー数 (4/1)	フォロワー数 (3/31)	更新頻度
1	Facebook	1 1 8 2	1 3 5 0	1 週間に 1 回
2	Instagram	3 1 6	6 5 9	1 か月に 1 回
3	Twitter	1 8 8	4 2 2	毎日
4	Line	1 8 3	2 6 6	1 か月に 1 回

5. 山岳遭難事故への対応

大杉谷登山道での山岳事故は 7 件でした（死亡 1 件、重傷 3 件、軽傷 2 件、行方不明 1 件）。

また、山岳救助隊の出動としては、セツ釜滝での滑落死亡事故の際に 1 日、行方不明者捜索のため 6 日間、計 7 日間出動しました。

6. イベントの開催

三重県から受託した「森林とふれあう自然公園環境整備業務」により参加者を募集し、地元ガイドによる森林環境教育や、日出ヶ岳～ミネコシ区間と堂倉避難小屋の下、計 2 箇所の階段の整備など実施しました。

関係者整備では大杉谷登山道の関係者（地元ガイド、山岳救助隊、大台警察署、環境省、三重県、大台町）にお集まりいただき、桃の木吊り橋とセツ釜滝吊り橋の滑り止め防止の木板の張り付け、光滝下流部へのモルタル施工、崩壊地での道迷い防止のためのマーキングなどを実施しました。

参加者の皆様のおかげで、職員だけでは中々手が回らない箇所の整備を行う

ことができました。今後もこれらの整備イベントは継続して行っていきます。

イベント一覧

9/12,13	ボランティア整備プロジェクト 森林環境教育及び自然保護活動	主催	催行
9/26,27	ボランティア整備プロジェクト 森林環境教育及び自然保護活動	主催	催行
10/15,16	大杉谷登山歩道関係者整備	主催	催行

7. 収益事業について

登山者の利便性を図るための登山用品や地元産物等の委託販売、記念品等の自主販売を行いました。本年度は地元在住作家にイラストを依頼し、作成したTシャツが好評を得ました。

8. 寄付金

登山口付近の大日トイレを維持していくための寄付金箱を設置し、トイレ使用者からの寄付金を募りました。入山協力金に協力していただいた方には無料開放していましたが、協力金との相乗効果でトイレの寄付金に協力していただいた方も増加しました。

また、9月より桃の木山の家と栗谷小屋と共同で、協力金に協力していただいた方にトイレを無料開放するキャンペーンをしました

令和2年度 トイレ寄付収入 (令和3年3月31日現在)

寄付金収入	金額
トイレ寄付金	62,110

9. 大杉谷入山協力金

4月17日（金）～11月23日（祝・月）の期間で大杉谷入山協力金の本格運用を開始しました。PayPay やインターネットによる事前決済サービスを導入するなど、少しでも登山者が納入しやすいように改善を行いました。

今シーズン中にご協力頂いた結果は以下の表のとおりです。

	場所	金額	備考
1	大杉谷登山センター	838,988円	職員+補助員
2	自販機（大杉谷側）	597,000円	無人
3	自販機（大台ヶ原側）	150,000円	無人
4	受取利息	16円	
5	振込	0円	
合計		1,586,004円	

また、併せて行ったアンケート調査には149件の回答がありました。

多くの方より、入山協力金の導入に賛同していただいています。